



## 日本骨髄バンクの現状（平成 28 年 2 月末現在）

	1 月	2 月	現在数	累計数
ドナー登録者数	2,431	2,284	457,971	661,672
患者登録者数	239	255	3,185	47,331
移植例数	93	99	—	19,201

### ■2 月年代別ドナー登録者数（現在数）

10 代	2,853 人
20 代	70,035 人
30 代	141,803 人
40 代	190,714 人
50 代	52,566 人

### ■2 月の 20 歳未満の登録者 303 人

■2 月の区分別ドナー登録者数：献血ルーム／662 人、献血併行型集団登録会／1,521 人、集団登録会／40 人  
その他／61 人

■2 月末までの末梢血幹細胞移植 (PBSCT) 累計数：149 件

注) 数値は速報値のため訂正されることがあります。

## 1 患者負担金（検査料）の改定について

現在、コーディネートに必要なドナーの検査料のうち、「一般血液検査（ドナースクリーニング検査）料」の一部、及び「ドナー本人確認検査料」の全額を当法人が負担しています。しかし現在、当法人の経営状態が極めて悪化しており、鋭意経費削減に努めているものの来年度においても大幅な経常赤字が見込まれています。このような状況から、3 月 14 日開催の通常理事会において、従前より当法人が負担していたこれらの検査料について全額を患者負担としていただく旨の議案が諮られ、可決承認されました。

現在、「一般血液検査料」についてはドナー 1 人につき 5,000 円をご負担いただいておりますがこれを 8,985 円（全額患者負担）に、また現在全額を当法人が負担している「ドナー本人確認検査料」についてはこれを 9,504 円（全額患者負担）に、それぞれ改定するものです。これらは 5 月 1 日以降の検査分から実施することとし、今後関係者へ周知してまいります。

なにとぞ事情をご賢察いただき、ご理解いただきますようお願い申し上げます。

## 2 フリーダイヤル（0120-445-445）を廃止

骨髄バンクのフリーダイヤル（0120-445-445）は、当法人設立当初から設置され、ドナー登録希望者等からの資料請求や問い合わせに使われてきました。しかしながら現在では、ホームページを通じた資料請求や問い合わせがほとんどを占めるため、6 月 30 日をもってフリーダイヤルを廃止いたします。これに伴い 4 月 1 日から資料請求・問い合わせ専用ダイヤルを新設します。なお、7 月以降にフリーダイヤルにかけた場合、1 年間は新しい番号の案内が流れます。

○ **新番号**：03-5280-1789 ドナーバンク

○ **スケジュール**：4 月から新番号設置 ※フリーダイヤルは 6 月末まで使用可能

## 3 新たに 3 市町村でドナー助成制度導入

群馬県榛東村、岐阜県瑞浪市、京都府和東町の 3 市町村で骨髄または末梢血幹細胞を提供したドナーのための助成制度がスタートし、全国で 128 市町村となりました。助成内容は各自治体によって異なりますので、直接お問い合わせください（ホームページに問い合わせ一覧を掲載しています）。

## 4 「再生医療用 iPS 細胞ストック」への協力に伴う「チャンス」の改訂について

本年 4 月から骨髄バンク事業は、京都大学 iPS 細胞研究所が運営する「再生医療用 iPS 細胞ストック」に協力することになりました。4 月以降にドナー登録された方で「拒絶反応が起きにくい HLA 型」を持つ方には、日本赤十字社から案内文書が届きます。これに伴い、骨髄バンク登録のしおり「チャンス」を改訂します。登録申込書に「再生医療用 iPS 細胞ストック」への協力のための個人情報利用の可否を問うチェックボックスを設けます。4 月以降、これまでのチャンスを廃棄し、改訂版の「チャンス」をご使用ください。

## 5 第 38 回日本造血細胞移植学会総会開催

「第 38 回日本造血細胞移植学会総会」が 3 月 3 日（木）～ 5 日（土）の 3 日間、名古屋市で開催されました。日本骨髄バンクも「地区代表協力医師会議」を併催したほか、展示ブースでは「春ちゃんは元気です」の原画パネル展示を行いました。また、昨年より一般社団法人日本造血細胞移植学会の主催となった「造血幹細胞移植推進事業フォーラム」には約 280 名の参加があり、当法人ドナー安全委員会金森平和委員長から「非血縁者間末梢血幹細胞採取・移植の規制緩和と今後の施設間連携について」が報告されました。（※）

さらに最終日には「市民公開講座」が行われました。

第 39 回学会総会は、2017 年 3 月 2 日（木）～ 4 日（土）島根県松江市で開催されます。

※フォーラムの詳細は、日本造血細胞移植学会ホームページ

(<http://www.jshct.com/info/2016forum.shtml>) をご参照ください。

## 6 期間短縮に向けた拠点病院と骨髄バンクの連携強化（その 2）

国の審議会が 2 月 16 日に開催され、造血幹細胞移植推進拠点病院事業の方向性について審議されました。このうちコーディネート支援事業では、骨髄バンク地区事務局との連携を強化し、コーディネート期間短縮を重視することが示されました。

また、2 月 27 日に拠点病院の一つである大阪市立大学医学部附属病院で、拠点病院セミナーと近畿地区ブロック会議が開催され、医師、院内コーディネーター、骨髄バンクコーディネーター等約 70 人が参加しました。会議では事務局や委員会の報告後、骨髄バンクコーディネートの迅速化に向けた講演と意見交換が行われました。メーリングリストを用いて採取施設の空き状況を確認するという新たな発想に基づく提案や、患者さんの希望時期に調整が困難な現状の問題点の指摘などがなされました。

関東地区でも 7 月に同様の会議を開催する予定です。骨髄バンクは全国 9 施設の拠点病院をはじめ関係者の方々とさらに連携を強化して期間短縮をめざします。

## 7 巨人軍沖縄キャンプで骨髄バンク支援 PR

2 月 18 日（木）に、読売巨人軍のキャンプ地である那覇で骨髄バンクの PR とドナー登録会＆献血が行われました。沖縄セルラースタジアム那覇の特設ステージでは、骨髄移植を受けて元気になった外間友果さんが、骨髄移植体験談を話されました。ドナー登録会では 12 名の方にご登録いただきました。



## 8 Vリーグ・プレミアリーグ・ファイナルラウンドで骨髄バンクをPR

「2015/16 Vプレミアリーグ・ファイナルラウンド」が3月12日（土）、13日（日）の2日間、東京体育館で開催されました。会場では AC ジャパンの CM 放映や骨髄バンクのリーフレット配布の他、特設ブースで選手による募金活動が行われました。ご支援いただいた皆様、Vリーグ機構関係者の皆様に改めて御礼申し上げます。

## 9 ミュージカル「明日への扉」公演の滋慶学園グループへ感謝状贈呈

骨髄移植推進キャンペーンミュージカル「明日への扉」を公演する学校法人滋慶学園グループの系列校の卒業式が3月8日～21日に札幌、仙台、東京、名古屋、大阪、福岡で挙行されます。滋慶学園グループの系列校、大阪スクールオブミュージック専門学校により1994年に初演された「明日への扉」のミュージカル公演や寄付を通じて長年にわたり骨髄バンクを支援していただいています。各卒業式会場では卒業生より寄付金の贈呈があり、当法人から代表者に感謝状を贈呈します。

## 10 当法人の会議等開催予定

◆会議の傍聴をご希望の方は、事前に当法人総務部までお申し込みください。

会議名	公開・非公開	開催予定
倫理委員会	公開・一部非公開	3月20日（日）13：00～廣瀬第2ビル7階会議室
業務執行会議	公開・一部非公開	4月12日（火）17：30～廣瀬第2ビル地下会議室
業務執行会議	公開・一部非公開	5月23日（月）17：30～廣瀬第2ビル地下会議室

### コーディネーター関係者のコーナー

以下は、医師およびコーディネーターの皆さまを対象としています。

## 11 確認検査検体の翌日回収について

平成 26 年 8 月の「確認検査行程期間短縮に向けたワーキンググループ」答申を受け、関係機関と調整をした結果、集荷時間の関係で確認検査面談の日程調整が困難な場合は検査会社と相談の上、確認検査検体の翌日集荷を実施することとなりました。

### ○コーディネーターの方へ

集荷時間の関係で調整医師及びドナーとの日程調整が困難な場合は、翌日集荷が可能かどうか担当地区事務局へ相談してください。

### ○調整医師の先生方へ

翌日集荷の場合、調整医師施設にて確認検査検体を保冷状態で保管をする必要があります。

翌日集荷を検討する場合、検体の冷蔵保管の対応が可能かどうかについて、担当地区事務局より個別に相談させていただきます。

### ○運用開始日

4月1日予約分から

## 12 地区代表協力医師会議開催報告

地区代表協力医師会議を第 38 回日本造血細胞移植学会総会（平成 28 年 3 月 3 日～ 5 日）の会期中に開催し、骨髄バンクの現状、ドナー適格性判定に関する相談事例、採取事例に関する検討等を行いました。また、大幅なコーディネート期間短縮を目的とするコーディネートフローやルールの見直しについて、活発な意見交換が行われました。

## 13 ドナー適格性判定基準の変更について＜医師の方へ＞

以下の項目についてドナー適格性判定基準を変更します。詳細は別紙をご参照ください。

P60【婦人科疾患】子宮頸部円錐切除術を施行した場合は「不可」

## 14 DLI ドナー適格性判定基準の変更について＜医師の方へ＞

以下の項目について DLI ドナー適格性判定基準を変更します。詳細は別紙をご参照ください。

P6【臨床的な問題】

確認検査時に、両上肢（正中静脈等）で体外循環が可能なある程度太い血管が確保できないため PBSCT は不適格と判定された場合であっても、DLI 採取施設において血管確保についてあらためて判定すること。

## 15 検体保存事業について（平成 28 年 4 月以降の運用）＜認定施設医師の方へ＞

平成 28 年度から検体送付先が東海大学から事業主体である日本赤十字社に変更されます。これに伴い手続きが変更されますので詳細は日赤から認定施設へ通知されている文書をご確認ください。

## 16 返信用紙『問診票』の改訂について＜コーディネーターの方へ＞

「確認検査行程期間短縮に向けたワーキンググループ」の答申を受け、返信用紙『問診票』を改訂します。今回の改訂では、ドナーの方が記載しやすく、可能な限り情報を得られるよう平易な言葉を使用しレイアウトを変更しました。添付資料をご確認ください。

○運用開始日 2016 年 3 月 31 日（木）発送分から

## 17 携帯電話の機種変更について＜コーディネーターの方へ＞

3 月 10 日付けで対象の方にお知らせしましたが、2015 年新規導入のものを除く全ての a u 携帯電話について、一斉機種変更をします。**切り替え作業は必ず 3 月 31 日午後 6 時まで完了**するようお願いいたします（最寄りの a u ショップに依頼できます）。現在使用している携帯電話は着払い伝票で、**4 月末まで**にドナーコーディネーター部に返却をお願いします。

## 18 委嘱状発行のお知らせ＜調整医師の方へ＞

先生方には、調整医師委嘱更新書類をご返送いただきありがとうございました。3 月下旬より順次、委嘱状をお送りします。まだご返送いただいていない方はお早めに返送をお願いします。なお、異動先で引き続きご協力いただける先生方には異動後に手続き書類を郵送します。